

○委員長(出村 勝彦) おはようございます。

それでは、ただいまから北海道新幹線新函館駅(仮称)開業に関する調査特別委員会を開会いたします。

まず、本日の議題の確認ですが、お手元に配付のとおり進めたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(出村 勝彦) 異議がありませんので、そのように進めさせていただきます。

本日の調査に先立ちまして、10月1日に企画部内に新幹線開業イベントプロジェクトチームが立ち上がりました。

今後、当委員会とのかかわりがございますので、プロジェクトチームの設置趣旨などについて、お話を伺うため、本日、御出席をいただきました。

それでは、よろしく願いいたします。

○企画部参事1級(小林 良一) おはようございます。

企画部参事1級として新幹線の開業イベントを担当させていただきます小林でございます。どうぞ、よろしく願いをいたします。

また、管理職員の紹介をさせていただきます。参事3級の小笠原 聡でございます。

○企画部参事3級(小笠原 聡) 小笠原でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。

○企画部参事1級(小林 良一) 新幹線開業イベントは平成27年度に予定をされております北海道新幹線の開業に向け、企画部内に参事1級と参事3級、主査2名を配置し、新幹線開業に向けたイベントを担当するプロジェクトチームとして10月1日に設置をされました。北海道新幹線の開業は、本市はもとより北海道全域におきましてさまざまな分野で多大な波及効果が期待をされており、その開業効果を最大限に享受していくための取り組みが重要であると考えております。一方で、新幹線が開業した各地の状況を検証いたしますと、開業前には観光客が落ち込む傾向が見られ、また平成27年3月には北陸新幹線の開業も予定をされているところでございまして、函館観光への影響も懸念をされるところでございます。こうした中で、北海道新幹線の開業という千載一遇の好機を地域振興につなげていくためには、開業前のイベントとともに、開業効果を高めるイベントの取り組みが重要になってくると考えてございます。近年、新幹線を開業いたしました地域では、インパクトのある開業イベントなどを実施し、弾みをつけているところでございます。こうした中で、本市におきましても、開業前、開業時、開業後の3つのイベントを検討し、それらを連携させながら、実施効果を高めるような総合的な取り組みが必要であると考えております。今後、事業内容や実施時期などについて検討し、議会を初め関係団体等から御意見をいただきながら取り組みを行ってまいりたいと考えているところでございます。また、各種イベントの実施に当たりましては、例えばアクセス列車など2次交通については企画部と、観光プロモーションについては観光コンベンション部など、庁内関係部局、そして各種関係団体、企業等と、これまで以上に連携、調整を図りながら、協力して取り組みを進めていく必要があると考えているところでござ

ざいます。

どうぞ、よろしく願いをいたします。ありがとうございます。

○委員長（出村 勝彦） はい、ありがとうございました。

お聞きのとおりでございます。

開業イベントにつきましては当委員会の調査項目にもしておりますことから、今後、プロジェクトチームの具体の進行なども見据えながら、当該調査項目を議題にしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、ここで理事者は御退席願います。

（委員長、1つ聞きたいんですけど、いいですか」と井田委員）

○委員長（出村 勝彦） いいですよ。どうぞ、井田委員。

○井田 範行委員 ちょっと、新しくできたということなんですけども、今の御説明でプロジェクトのイメージは大体わかったんですけども、どうもイベントに非常に特化した、先ほどのコメントなんかでも。それで、私どものこの今の調査研究の中でも、アクセスの関係、あと観光振興の関係、それぞれのプロの方はいっぱいおられるんですけども、イベントはイベントでわかりました。その辺の連携はするということだったんですけども、その辺のイメージをもうちょっとわかるように、例えば観光振興となれば観光コンベンション部が中心になってやると思うんですけど、その関係をもうちょっとかみ砕いて御説明いただくと非常にイメージとりやすいんですけども。という質問なんですけれども、よろしいでしょうか。

○委員長（出村 勝彦） いいですよ。

○企画部参事1級（小林 良一） 現在考えてございますのは、まず市内で恐らく開業前、開業時、開業後にイベントを開催していく必要があると思っています。それは、今回このプロジェクトチームが先端をしながら進めさせていただきたいと思っています。あと一方で、例えば現在も行ってはいますが、北関東や南東北でのいわゆるプロモーション事業、これは従前どおり観光コンベンション部がその役割を担いながら進めていくという形になります。ただ、そこで今度は私どもはそのイベントというものも開催していくわけですから、そうしたイベントの周知等々もあると思いますので、そうしたところは観光コンベンション部と協議をしながら進めさせていただくと。それともう一つございますので、例えば青函で今4都市の観光連携会議というものが立ち上がっています。こうしたものについては観光コンベンション部のほうで役割を担いながら、また当然、私どもそのイベントの中で、まだこれから検討する段階で、まだ具体的なことは申し上げることはできないんですけども、例えばその関係都市から何か参加をしていただくとか、道南から参加をしていただくとか、そういったことも考えられますので、そうしたことも含めて観光コンベンション部と連携をとりながら進めさせていただくというような形になると思っています。

以上でございます。

○井田 範行委員 連携をとるということは非常に簡単な言葉なんですけども、過去の中でもいろいろ連携とりながらということで、全てが全てうまく流れているかという、微妙な部分もありまして、あくまでもプロジェクトチームと観光コンベンション部というのは横並びの連携、あくまでもプロジェクトチームが上にいて指示を出しながらやっていくというイメージではないんです。あくまでも横の連携と。

形はわかりました。冒頭言ったように、連携というのは口で言うのは簡単なんですけども、実際にやっぱりその微妙な部分がありますので、ひとつぜひ、イベントだけではなくて、イベントというのは、一過性と言ったらまずいんでしょうけども、一時的なものですから、やはり長く開業効果を引っ張るには、やはりいろんな小さなものからやっていかなければだめな部分もあるので、その辺も含めてぜひよろしくお願ひしたいということで終わります。

○委員長（出村 勝彦） よろしいですか。はい。あと、いいですか。

それでは、御退席ください。

（企画部新幹線開業イベントプロジェクトチーム退室）

○委員長（出村 勝彦） それでは、これより本日の調査に入ります。

前回の委員会におきまして、開業に伴う観光振興にかかわり、「新幹線開業に向けてのイベントについて」及び「現函館駅からの二次交通について」を除く各項目について、理事者の主な取り組み状況の説明を受け、理事者の現状の取り組みに対する疑問点のほか、御意見や御要望も含め、理事者に確認したい事項があれば、事前に提出していただき、本日の委員会において、その内容を整理、確認することとしておりました。なお、本件については、最終的には、現状の取り組みの評価や今後の取り組みへの提言などについて委員会として取りまとめいくことを確認しております。

それでは、先日、皆様から御提出をいただきました理事者への確認事項などにつきまして、正副で取りまとめたものを、資料1としてお手元に配付しておりますので、御確認願います。

資料について、若干、説明をさせていただきます。

まず、1ページと2ページは理事者への確認事項でございまして、前回の委員会において観光コンベンション部から提出された資料の各項目ごとや、「開業による長所・短所」、「ターゲット」、「利便性向上」といった観点から分類をいたしました。また、3ページは意見や考え方などでございまして、こちらも資料に記載の各項目に分類をいたしました。

それでは、まず、資料の1、2ページの理事者への確認事項について整理、確認したいと思います。資料の記載事項に対して何か御発言はございますでしょうか。また、あわせて記載事項のほかに、前回委員会で調査を行った理事者の取り組みについて、新たに理事者に確認したい事項がございましたら、ここで御発言願います。どうぞ、御発言をお願いします。

漏れてるようなことはないですよ。何かありますか、付け加えること。

○福島 恭二委員 これ出して、これ答えをもらうんだっかい。

○委員長（出村 勝彦） そうそうそうそう。これらを次回、理事者に。

○福島 恭二委員 次にこの答えが出てくるんだ。

○委員長（出村 勝彦） 次ね。今回はこういうあれで、皆さんから出されたのをもう一回確認しまして、今度、理事者に御回答をいただくような形をとろうと思うんだけど。

漏れているところは、事務局ではないということなので。

どうでしょう。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（出村 勝彦） いいですか。それでは、そのように確認をさせていただきます。

ただいま確認いたしました事項について、次回の委員会において理事者から回答をいただくというこ

とで、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(出村 勝彦) それでは、そのように確認をさせていただきます。

次に、3ページの内容につきましては、今後、開業に伴う観光振興に係る調査結果を取りまとめる際の委員間での協議の場面で整理したいと思いますので、御承知置き願います。

以上で本日の調査は終了したいと思いますのですが、各委員から何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○委員長(出村 勝彦) 特段ないようですので、以上で本日の調査をまず終了いたします。

次に2のその他ですが、まず私から1点、議会報告会についてですが、皆様も御承知のとおり、今年度の議会報告会につきましては、11月12日及び15日の2回、開催することになりました。

その内容として、当委員会に係る部分については、北海道新幹線にかかわる要望、要請活動の報告であり、具体的には要望、要請活動の活動に至った背景、活動内容、活動後の取り組み状況、今後の方向性について報告するものでありまして、報告者は正副委員長と決定しているところでございます。

そこで、具体の報告事項について事前に皆様に御確認をいただきたいと思っております。

お手元に資料2として正副で取りまとめた案を配付しておりますので、御確認願います。

1として、特別委員会を設置したこと。2、3、4として、これまでにJR北海道、鉄道・運輸機構に対して調査を行ってきたこと。5、6として、当委員会から提出した決議案を可決し、JR北海道及び北海道に提出したこと。7として、市・市議会合同要望の中で、JR北海道への要望活動に参加したこと。最後に8として、現在の委員会調査としております。

報告に当たっては、資料の記載内容を中心に、その概要などを報告したいと考えております。また、これまでの経過的なものとして、特別委員会の設置前にも総務常任委員会において調査をしていたということも若干触れながら報告したいと考えております。

報告内容につきましては、これらを踏まえて作成することとし、具体につきましては正副委員長にお任せいただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(出村 勝彦) それでは、そのように確認をさせていただきます。

本件に関わりまして、他に各委員から何か御発言はございますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(出村 勝彦) ないようですので、最後にその他、各委員から何かありますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(出村 勝彦) 特段ないようですので、それでは、本日はこれをもちまして散会いたします。

よろしく願います。

午前10時18分散会